学校番号	105

令和８年度　体育科

教科	専門体育	科目	スポーツⅢ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等	アクティブスポーツ［総合版］大修館書店						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・剣道・柔道・なぎなたを学ぶ中で、技能だけでなく礼儀作法等を身につけ、専門科としての意欲・態度・技能を高めよう。
・自他の技能を観察分析することで、技能に対する興味関心を高め、技術の向上を目指す楽しさや、達成感を感じよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
武道（柔道・剣道・なぎなた）の伝統的な考え方や技の名称などを学び、基本動作を習得し、得意技などを用いた攻防が展開できる。
【思考力、判断力、表現力等】
自己や仲間の課題を発見し、互いに意見を出し合い、合理的・計画的な解決に向けて思考し、判断することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの我が国固有の伝統的な行動の仕方ができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・技能の習得および向上に取り組む。 ・活動の合理的な実践を通して、武道の特性に応じた段階的な技能を身につける。 ・技の名称や見取り稽古の仕方、活動を行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 ・武道の歴史、文化的な特性などについて理解している。	・知識を活用し、技能の向上を目指す。 ・自己や仲間の課題に応じた運動をするための工夫ができる。 ・学習で得た成果を自ら応用・発展させる。 ・自他の技能を客観的に判断できる。	・武道の伝統的な所作・礼儀作法を大切にし、自らすすんで武道の楽しさや喜びを味わおうとする。 ・健康や安全を確保して主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1～3学期	スポーツⅢ（柔道・剣道・なぎなた）	武道の理解と実践 剣道･柔道･なぎなたから2種目を前期･後期で学習する。	a: 相手の動きに応じた基本動作、応用技、得意技ができる。 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方について理解している。 b:自己や相手の技の特性、体力の程度に応じた技を判断し、表現している。 自己や仲間の課題を発見し、合理的・計画的な練習の進め方を判断し、表現することができる。 提示された攻防の方法から自らに適した方法を選択している。 c: 武道の伝統的な所作･礼儀作法を大切にしようとしている。 健康･安全を確保し､武道の学習に自主的に取り組もうとしている。 自己課題を把握し、目標達成に向けて粘り強く取り組もうとしている。	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題	観察 ワークシート ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ 課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度